



よこすか市議会だより

No. 14

平成25年(2013年)
7月1日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)8463 [市議会事務局議事課]

http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/7860/council_02/index.html pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行：横須賀市議会
編集：横須賀市議会だより
編集委員会



衣笠コミュニティセンター

横須賀市議会は、4月26日・27日に、追浜コミュニティセンター・浦賀コミュニティセンター・西コミュニティセンター・ヴェルクよこすか・衣笠コミュニティセンターの5カ所で、議会報告会を開催し、市長の提案した「平成25年度予算案」に対して、議会がどのような議論を経てどのような判断を下したかなどを伝えました。

伝えていく 議会へ

第4回議会報告会を開催

市長原案を議会が 4項目で修正

報告会では、最初に市長が提案した平成25年度予算案の全体的な説明を行いました。続いて、総務、生活環境、教育福祉、都市整備の4常任委員会ごとに、議案や質疑の内容を報告しました。

平成25年度の一一般会計予算案(原案)は、約141.9億4千万円、特別会計予算案は、約106.4億9千万円、企業会計予算案約40.3億3千万円、合計約288.7億7千万円となります。このうち一般会計予算で4項目の事業については、事業効果が不透明などの理由で認めず、事業予算357.6万円を減額した修正案を議会側が提出し、賛成多数で可決しました。

予算修正となった 事業とその背景

自治基本条例案

市長が提出した自治基本条例案については市民からは賛成反対双方の声が寄せられ、昨年12月に議会でも否決し、市長も条例案を見直すことと答弁していました。

しかし、その条例の制定に向けた予算が今回再提出されたため、議会審議では「市民に条例への理解を深めてもらうために必要」などの賛成意見がある一方で、「何も見直していないのに時期尚早である」などの

自治基本条例の制定に向けた 取り組み事業費

予算額 21万8千円
内容 市民向けの説明会
出前トーク*の実施



定住促進事業は、ファーストマイホーム応援制度*が実施されていたため、「同応援制度の効果検証をしていない」「観光気分が使われるだけではないのか」「好意的な情報発信だけではないのか」など様々な問題点が指摘されました。一方で、

「実際に住んでインターネットで横

都市部 市が谷戸の古い空き家を1軒、購入・改修して、年間5組、市内外の人へ2週間ずつ居住体験してもらい、2年後以降は学生向けの賃貸物件として活用するというもの。

政策推進部 民間住宅を借り上げ市外居住者15組がそれぞれ1週間の居住体験をして、その体験談をインターネットで情報発信してもらうというもの。

トライアルステイ事業

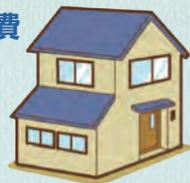
意見があり削除されました。

都市部 改修した空き家でのトライアルステイ事業

予算額 2,756万5千円
内容 空き家及び土地購入費用
空き家改修及び維持費
入居者募集及び宣伝等実施委託料

政策推進部 シティセールス*推進事業費

予算額 1,420万円
内容 民間住宅の借上げ
及び維持費用



集客プロモーション事業

須賀を宣伝する手法は話題性がある」などの賛成意見もありました。

集客プロモーション促進のために横須賀美術館を活用し、日本の著名なシンガーソングライター半世紀にわたる活動、人生を振り返る記録を展示し、当人によるミニトークやミニライブなども計画する事業です。しかし、議会へ議案が提出されましたが、契約の関係で詳細が説明されなかったため、「この状況では審査できない」「美術館条例違反の疑義がある」などの問題点が指摘されました。一方で、「集客施設としてこういった形での活用も必要」との賛成意見もありました。

これらの議論を経て議会で決定したことを市役所内で留めるのではなく、市民に対して説明責任を果たし、行政の行っている様々な事業への理解を深めていただき、政治をもっと身近に感じていただける場となるように継続して議会報告会を開催していく予定です。より多くの方の参加をお待ちしています。

各会場での意見・質問は、2・3面をご覧ください。

集客促進事業

予算額 2,000万円
内容 横須賀美術館特別企画展
の開催事業費用



用語説明

出前トーク …様々なテーマに応じて、市職員が地域に出向き説明や意見交換をすること
シティセールス…まちを様々な分野で宣伝し、まちに大きな利益をもたらすようにすること

ファーストマイホーム応援制度 …横須賀市ではじめて住宅を取得する人に対して補助金を出す事業

追浜コミュニティセンター

国民健康保険料の値上げなど

●意見・質問 国民健康保険の保険料の値上げについて、値上げ幅14.6%というのは、あまりに大き過ぎる。市長と協力して対応を考えられなかったのか。

●回答 議会としては、今回の予算議会で初めて知ることになったため、市民負担を考えると多くの議論を重ねました。その中で議会から新たな提案もありましたが、結果としては原案がおりとなりました。

●意見・質問 横須賀市ごみ処理施設の建設に際して、残土を全て施設内で埋め立て処理するのは、緑の保全と逆行するのではないのか。

●回答 現在ある減容・固化施設に隣接する土地に新しい施設を造る計画のため、埋め立て場所は基本的に緑のない場所になります。しかし、一部施設を新設する場所や道路の部分については緑が減ることになりますので、緑を保全する観点から計画の中で指摘をしています。

●意見・質問 自治基本条例の住民投票条例の否決の判断は正しかったと思う。基地を抱えているまちとして安全保障についての議論はあったのか。

●回答 自治基本条例検討特別委員会を開き、安全保障の観点から



代表者 神保 浩
司会者 加藤眞道 (総務)
報告者 芳賀親男 (生活環境)
青木哲正 (生活環境)
室島真貴子 (教育福祉)
青木秀介 (都市整備)
土田弘之宣
記録者 関沢敏行



も議論を行いました。

●意見・質問 市内の利用されていない土地を売却してばかりではおかしい。大矢部弾庫や浦賀ドックなど積極的に活用すべきではないか。市に寄贈してもらえないのか。

●回答 現状、大矢部弾庫については国から買い取るように言われています。浦賀ドックの活用については住友重機械工業(株)に声掛けをしていますが、なかなか増えているまちなみもあるのに、横須賀市では何故人口減少が続いているのか。

●回答 市内に職場が少ないのが一番の原因と考えます。都市間競争の中で人口減少対策を行っていますが非常に難しいのが現状です。

西コミュニティセンター

横須賀市の人口減少対策など

●意見・質問 横須賀市の人口減少が続く中で、それをどうすればいいのか議論がされているか。

●回答 議会としても定住人口をいかに増やしていくかが今の市政の最大の課題であると認識をしております。市は5年間でファーストマイホーム応援制度を実施してきましたが、その分析もありません。今、新しい事業提案をしてきました。これについてはまだ時期尚早として減額修正としました。



代表者 板橋 衛
司会者 伊東雅之 (総務)
報告者 鈴木真智子 (総務)
はまのまさひろ (生活環境)
長谷川 昇 (教育福祉)
伊関功滋 (都市整備)
高橋敬明
記録者 西郷宗範



●意見・質問 平成25年度予算で谷戸地域住環境対策事業費が削られたのは、非常に残念。なぜ谷戸対策を削らないのか。

●回答 地元ではなく東京の不動産業者を使って進めようとする手法などやり方に問題がありまいた。決して谷戸のことを考えていないのではなく、今後も谷戸対策は議論していきます。

●意見・質問 浦賀ドックの跡地は魅力ある浦賀にするために必要不可欠と考えるが、どうにかならぬのか。

●回答 浦賀港周辺地区再整備事業の中でミュージアム・パーク及



び水辺プロムナードなどの事業の展開を図っているところで、この事業を推進するために市は平成19年度に土地の持ち主である住友重機械工業(株)へ協力依頼を行っていますが、先方からは事業全体を先送りしたい旨の申し入れがありました。また、議会としても浦賀地域在住の6名の議員が住友重機械工業(株)と平成23年度に懇談をもつて、地域の声を届けました。引き続き浦賀地域の活性化のために様々な場面を通じ交渉してまいります。

●意見・質問 新港埠頭株式会社管理体制改革は議会で伝わっているのか。

●回答 会社の解散について議案が市長から示されました。6月に正式に解散し、その後の受付業務は市が直営で行い、警備は管理会社に委託して行うことになりました。

●意見・質問 自治基本条例は否決されているのに、なぜ予算を付けたのか。

●回答 条例関係の予算は削減(21万8千円)自治基本条例の実施(明会の開催と出前ツアーの実施)

浦賀コミュニティセンター

谷戸地域住環境対策事業費が削られた理由など

代表者 山本文夫
司会者 大野忠之 (総務)
報告者 大村洋子 (生活環境)
山城保男 (生活環境)
嘉山淳平 (教育福祉)
井坂新哉 (都市整備)
ねぎしかすこ
記録者 石山 満



び水辺プロムナードなどの事業の展開を図っているところで、この事業を推進するために市は平成19年度に土地の持ち主である住友重機械工業(株)へ協力依頼を行っていますが、先方からは事業全体を先送りしたい旨の申し入れがありました。また、議会としても浦賀地域在住の6名の議員が住友重機械工業(株)と平成23年度に懇談をもつて、地域の声を届けました。引き続き浦賀地域の活性化のために様々な場面を通じ交渉してまいります。

●意見・質問 YRPの各経営体の企業の縮小や撤退の可能性があるのではないかと。雇用、地域経済への影響をどう考えているのか。

●意見・質問 市の定住人口も減ってきているのではないのか。

●回答 携帯電話からスマートフォンへの移行などにより、通信関係の事業では実際に縮小している部分があります。一方、自動車関連の企業が加わるなど新たな展開や計画もあります。YRPは市外から通勤の方がほとんどという現状ですが、雇用全体が減れば当然地域経済への影響も出てきますので、議会として今後も注視してまいります。

2013.4.26・27

第4回 議会報告会 各会場でいただいたご意見と議会の考え方

衣笠コミュニティセンター

トライアルステイ事業など

●意見・質問 年々議会報告会が充実しており、良いことと思っている。議会(委員会)中継をよく見ているが、予算審議で分りにくかったこととして、トライアルステイがあった。なぜ、トライアルステイ事業を、政策推進部と都市部で区別して予算計上しているのか。

●回答 確かに、トライアルステイという同じ名称のため、混同されやすかったと思います。都市部のトライアルステイは、住宅ストック活用事業として、改修した空き家でトライアルステイを実施するということで、谷戸地域の内、汐入5丁目地区をモデル地区として行うものです。

●意見・質問 政策推進部のトライアルステイは、シテールス推進事業として、都市イメージの向上を目指す事業です。市外居住者を対象に、市が借り上げた民間住宅に居住体験をしてみたいというものです。

●意見・質問 汐入5丁目地区のトライアルステイについて、市が住宅を借り上げるのか。また、現在実施している県立保健福祉大学の住宅支援制度とどう違うのか。

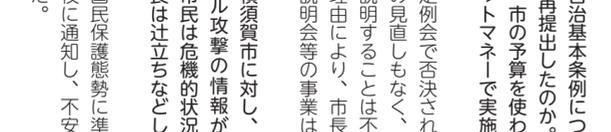
●回答 住宅ストック活用事業は、県立保健福祉大学の住宅支援制度とはまったく違う事業です。住宅ストック活用事業として、都市部のトライアルステイは、改修した空き家で居住体験を実施するということです。

●意見・質問 今まで聞いている市側の説明と違う。市側に苦情を



●意見・質問 市は、国民保護態勢に準じて、市民や学校に通知し、不安解消に努めました。

代表者 岩沢卓夫
司会者 杉田 惺 (総務)
報告者 小林伸行 (生活環境)
永井真人 (教育福祉)
藤野英明 (都市整備)
田辺昭人
木下憲司
記録者 山下 薫



●意見・質問 滞納者への具体的な対策は。また国民健康保険料の増額根拠は。なぜ一般会計からの繰り入れを防ぐため2ヶ塔増となつてしまったのか。

●回答 滞納対策についてはセフションを設け、督促のプクを招いて取り組むようになりました。

●意見・質問 下水道事業が資金不足となった原因は何か。

●回答 水道使用量が当初の見込みより、毎年減っているため、資金がなくなつてきています。

●意見・質問 小児医療費、税、国民健康保険料や消費税等の負担増で国民生活は厳しい。今後、少子高齢化に伴う人件費や、高齢者住宅の確保など、予算を長期的に検討すべきではないか。

●回答 小児医療費はお子さんのいないご家庭にとっては疑問の声もあると思いますが、定住人口を増やすため、子育て環境を充実させる必要があります。国民健康保険料は、近隣他都市が毎年値上げしているのに対し、本市は平成18年から値上げをしておらず、一般会計からの繰り入れによって賄っていました。しかし、これ以上の繰り入れは難しいため適正な料金改

ヴェルクよこすか

横須賀市の滞納対策など

●意見・質問 滞納者への具体的な対策は。また国民健康保険料の増額根拠は。なぜ一般会計からの繰り入れを防ぐため2ヶ塔増となつてしまったのか。

●回答 滞納対策についてはセフションを設け、督促のプクを招いて取り組むようになりました。

●意見・質問 下水道事業が資金不足となった原因は何か。

●回答 水道使用量が当初の見込みより、毎年減っているため、資金がなくなつてきています。

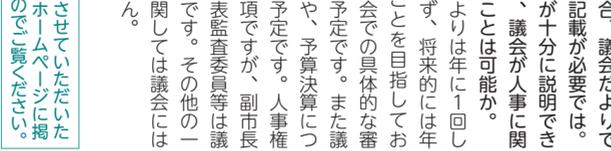
●意見・質問 小児医療費、税、国民健康保険料や消費税等の負担増で国民生活は厳しい。今後、少子高齢化に伴う人件費や、高齢者住宅の確保など、予算を長期的に検討すべきではないか。

●回答 小児医療費はお子さんのいないご家庭にとっては疑問の声もあると思いますが、定住人口を増やすため、子育て環境を充実させる必要があります。国民健康保険料は、近隣他都市が毎年値上げしているのに対し、本市は平成18年から値上げをしておらず、一般会計からの繰り入れによって賄っていました。しかし、これ以上の繰り入れは難しいため適正な料金改

●意見・質問 防災協議をきっかけに洋



代表者 山口道夫
司会者 岩崎絵美 (予算概要)
報告者 矢島真知子 (総務)
洋基 (生活環境)
角井 伊藤順一 (教育福祉)
松岡和行 (都市整備)
渡辺光一
上地克明
記録者 閉 会



平成25年 定例会の予定

第3回定例会

会期は9月5日から10月8日までの34日間です。市長から出される平成24年度決算、補正予算等の議案や請願・陳情を審議します。

Table with 3 columns: 月日, 会議名, 開始予定時間. Lists dates from 9/4 to 10/8 and meeting names like '議会運営委員会', '本会議', '教育福祉、都市整備各常任委員会'.

第4回定例会

会期は11月26日から12月12日までの17日間です。市長から出される補正予算等の議案や請願・陳情を審議します。

Table with 3 columns: 月日, 会議名, 開始予定時間. Lists dates from 11/25 to 12/12 and meeting names like '議会運営委員会', '本会議', '教育福祉、都市整備各常任委員会'.

*日程については変更される場合がありますので、詳しくは市議会HPまたは市議会事務局でご確認ください。

新たな議会の構成が決まりました

議長

板橋 衛

公明党
6期目 汐見台



人口減少や少子高齢化の進展で、まちづくりの舵取りも非常に難しい時代を迎えています。多様な民意をいかに汲み取り、市政に反映するかが私たち議会の最大の役割です。これからも風通しの良い議会を目指して全員野球で頑張ります。

副議長

矢島真知子

無所属クラブ
6期目 湘南鷹取



横須賀市議会史上初の女性副議長として板橋議長を支え、円滑な議会運営に努めてまいります。また、行政の監視力の更なる強化と議会の政策提案力の向上を図り、市民の皆様により信頼される議会になるよう努めます。

監査委員

田辺 昭人 伊関 功滋

神奈川県内広域水道企業団議会議員

青木 秀介

神奈川県競輪組合議会議員

青木 哲正

神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員

岩沢 章夫

農業委員会委員

松岡 和行 嘉山 淳平

総務

常任委員会

●総務、財務、政策推進、文化振興、産業経済に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

政策推進部、総務部、財政部、経済部、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、市議会事務局

委員長

青木 哲正 (新政会) 矢島真知子 (無所属クラブ)

芳賀 親男 (研政) 岩崎 絵美 (新政会) 長谷川 昇 (研政)

副委員長

土田弘之宣 (公明党) ねぎしかずこ (共産党)

西郷 宗範 (新政会) 青木 秀介 (自民党) 一柳 洋 (ニューウイング機願)

生活環境

常任委員会

●市民生活、市民安全、廃棄物、上下水道及び消防に関する事項

市民安全部、市民部、資源循環部、上下水道局、消防局

委員長

伊藤 順一 (新政会) 嘉山 淳平 (無所属クラブ)

加藤 眞道 (新政会) 山下 薫 (新政会) 山本 文夫 (研政)

副委員長

岩沢 章夫 (公明党) 上地 克明 (ニューウイング機願)

石山 満 (公明党) 田辺 昭人 (自民党) 小林 伸行 (無会派)

教育福祉

常任委員会

●社会福祉、保健衛生、子ども及び教育に関する事項

福祉部、健康部、こども育成部、教育委員会事務局

委員長

伊東 雅之 (新政会) はまのまさひろ (無所属クラブ)

大野 忠之 (自民党) 松岡 和行 (新政会) 伊関 功滋 (研政)

副委員長

鈴木真智子 (公明党) 井坂 新哉 (共産党)

永井 真人 (無所属クラブ) 木下 憲司 (自民党) 藤野 英明 (無会派)

都市整備

常任委員会

●環境政策、緑政、土木、建築及び港湾に関する事項

環境政策部、都市部、土木部、港湾部

委員長

杉田 惺 (新政会) 神保 浩 (無所属クラブ)

室島真貴子 (公明党) 山口 道夫 (新政会) 角井 基 (研政)

副委員長

関沢 敏行 (公明党) 大村 洋子 (共産党)

渡辺 光一 (自民党) 高橋 敏明 (自民党) 山城 保男 (無会派)

議会運営委員会

委員長

青木 哲正 (新政会) 木下 憲司 (自民党)

岩沢 章夫 (公明党) 西郷 宗範 (新政会) はまのまさひろ (無所属クラブ)

副委員長

鈴木真智子 (公明党) 伊関 功滋 (研政)

永井 真人 (無所属クラブ) 大野 忠之 (自民党) 長谷川 昇 (研政)



今回の市議会だよりは、市民の皆様が、議会の事により関心を持っていただけるように編集し、議会報告会の内容を中心に、お伝えしました。今後も私たち市議会だより編集委員は、議会の事がより分かりやすく伝える紙面を目指し、努力して参ります。最後に、市議会だよりの配布にご協力いただき、ありがとうございました。内会や自治会の皆様、深く感謝申し上げます。

編集後記